

琴平町教育委員会

小学校

1 実践のテーマ

「地域と共に歩み、ことひらを愛する児童・生徒を育てる」

2 目標

郷土の「ひと・もの・こと」の活用を通して、ことひらの自然や文化を体感し、生涯にわたってことひらを愛し、琴平で住みたいと思える子の育成を推進する。

2 内容

①「歌舞伎観劇と作品作り」

琴平町では「四国こんぴら歌舞伎大芝居」を小学5年生対象に観劇の機会を設けている。国指定重要文化財『旧金毘羅大芝居「金丸座」』で実際に歌舞伎を見学することは琴平町の伝統や文化を学ぶよい機会となった。観劇の後、児童は「絵画、書道作文」の作品作りに取り組み、町民文化祭で展示を行った。令和8年度は商工会の方と関わり木戸芸者などを行う予定である。

②「竹あかりプロジェクトでの作品作り」

約150年ぶりに行われた琴平山博覧会での「竹あかりプロジェクト」に町内の小学生児童全員が参加した。五人百姓「池商店」さんから金刀比羅宮や郷土の歴史、灯籠文化などの話を聞き、和紙に願い事を書き作品を制作した。作品は琴平駅や参道付近に展示をされ、琴平を明かりで灯し観光客や地域住民に見て頂いた。



③「地域との関わりをもった教材や体験活動」

各校では、社会科や総合的な学習で地域と関わりのある事象や人物を取り上げる地域学習を行っている。郷土の偉人「日柳燕石」を研究する燕石会の方と詩吟を詠んだり、特産のにんにく農家の見学を行ったり、各校の婦人会の方が「金毘羅船々」を教えて下さり、運動会で全員で踊ったりする活動を行った。



3 成果と課題

- 金丸座で歌舞伎を見学するなど本物の体験ができたことは児童・生徒の心に残ると考えられる。また、各校が地域の方と協力して活動を行うことで、郷土のために活動する人の姿を学び、郷土愛を高めることにもつながった。
- 琴平町は、令和11年に小学校統合を控えている。3つの各学校区には、特色ある文化や歴史、関係団体があるが全てをカリキュラムに入れ込むことは難しい。どの活動を残していくか、内容や地域のバランスも考えながら統合に向けてカリキュラムを創造していく必要がある。